

# ふりかえり ワークシート

名前

①見学前のワークシートに書いた「民家園でかくにんしたいこと」のけっかをまとめておきましょう。

-----

-----

-----

②暮らしの水は、むかしから今までどのようにかわってきたでしょうか。

暮らしの水 <sup>みづ</sup> について	昔	→	今
水を手に入れる方法 <sup>ほうほう</sup>			
水のつかい方			
道具 <sup>どうぐ</sup> のしゅるい			

③むかし、水を手に入れるのにかかせなかった井戸<sup>いど</sup>は、今どうなっているのでしょうか。「ふりかえり（しりょうへん）」を見て、しらべてみましょう。

-----

-----

-----

④暮らしのなかで運ぶ道具は、むかしから今までどのようにかわってきたでしょうか。

暮らしの運ぶ道具 <sup>うんぶのどうぐ</sup> について	昔	→	今
運ぶ方法			
道具のそざい			
道具 <sup>どうぐ</sup> のしゅるい			

⑤運ぶ道具は人の力、牛や馬といったどうぶつからのりものへとかわってきました。では、のりものをつかうようになったげんざい、運ぶ方法<sup>ほうほう</sup>はどのようにかわっているのでしょうか。「ふりかえり（しりょうへん）」を見て、しらべてみましょう。

-----

-----

-----

## ふりかえり（しりょうへん）

名前

いど  
井戸は今…

水道にかわった今でも井戸がのこっているところがあります。  
 下のしゃしんは井戸がある家で見つけたひょうじです。「災害用井戸」と書いてあります。  
 川崎市では、じしんなどで水道が使えなくなった時に、ちいきの人たちが井戸水をのみ水やトイレ、  
 せんたくに使えるよう、井戸のもちぬしに協力していただき、このひょうじをつけています。

さいがいよういど  
災害用井戸のひょうじ（川崎市麻生区内）さいがいようせんていいど  
川崎市のWebサイト「災害用選定井戸」  
(<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000021481.html>)

ちかくに井戸が  
のこっていたら、  
お家の人に  
お話をきいて  
みましょう。

みなさんのちいきには  
井戸があるでしょうか。  
市町村のWebサイトや  
地図でしらべて  
みましょう。



## もっと考えてみよう

- 災害用井戸は「飲料水供給井戸」と「生活用水供給井戸」に分かれています。どのようなちがいがあのでしょうか。
- もしも災害用井戸をつかわせてもらうことになったら、何かちゅういすることはあるでしょうか。
- ちいきによって井戸の数が多いところ、少ないところがあります。どうしてちがうのか、それぞれのちいきが昔どのようなところだったのか考えてみましょう。


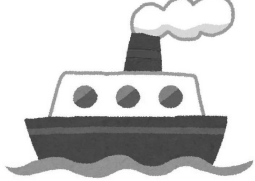
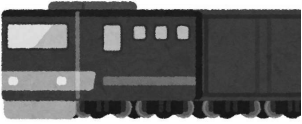


## ふりかえり（しりょうへん）

## ものの運び方のうつりかわり

わたしたちは毎日、生かつする中でもものを運びます。

また、わたしたちのもとにとどくものは、いろいろな方法で運ばれてきます。

みんかえんでは、人の力で運ぶことをたいけんしましたが、げんざいでは、どのような運び方があるのでしょうか。

人の力	船	てつどう 鉄道	じどうしゃ 自動車・自転車	ひこうき 飛行機
				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガソリンなどのエネルギーをつかわない。</li> <li>・運べるりょうがのりものに比べて、少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川や海といった水の上をわたりながら運べる。</li> <li>・陸の上ではうごけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸の上をはやく運べる。</li> <li>・外国などの海の向こうには行けない。</li> <li>・線路がないとうごけない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道があれば、はやく運べる。</li> <li>・鉄道や飛行機、船にくらべて運べるりょうが少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国などの海のむこうに行ける。</li> <li>・はやくものを運べる。</li> <li>・空こうがないとうごけない。</li> </ul>

## 考えてみよう

どうしてひとつの方法ではなく、さまざまな方法で運ぶひつようがあるのでしょうか。

## のりものと生かつのうつりかわり

わたしたちもいろいろなのりものによって、移動します。今のわたしたちが、当たり前のようにつかっているのりものも、むかしは貴重なものでした。

のりものがはいつてきて、わたしたちの生かつはどのようにかわったのでしょうか。

鉄道が通る前は、10キロはなれた町まで買いものに行った。  
鉄道が通るようになると、近くの町にお店屋さんがあつまってきて、買いものがべんりになった。

（広瀬さん）

はしができる前は、船をつかわないと川のむこうにわたることができなかった。  
人のほかに、牛も人といっしょにのって、川をわたった。

（原さん）

100年前は自転車が高級品だった。

かわさきの武蔵小杉の町の中でも、自転車を持つてる家は2つか3つくらいしかなかった。

（原さん）

## 考えてみよう

みなさんは、いつもどのようなのりものによっていますか。考えてみましょう。